

みずほCustomer Desk Report 2017/05/08 号 (As of 2017/05/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	-
TKY 9:00AM	112.54	1.0980	123.58	0.9862	1.2925	0.7411
SYD-NY High	112.82	1.0999	124.05	0.9904	1.2984	0.7428
SYD-NY Low	112.09	1.0949	122.93	0.9859	1.2902	0.7368
NY 5:00 PM	112.81	1.0999	124.00	0.9871	1.2984	0.7415
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.145/8.52		Δ25RR	0.870	Yen Call Over	
NY DOW	21,006.94	55.47	債券市場	日本2年債	-	-
NASDAQ	6,100.76	25.42		日本10年債	-	-
S&P	2,399.29	9.77		米国2年債	1.3102	0.4bp
日経平均	-	-		米国5年債	1.8816	▲0.5bp
TOPIX	-	-		米国10年債	2.3487	▲0.5bp
シカゴ日経先物	19,725.00	140.00	為替市況	独10年債	0.4180	2.4bp
ロンドンFT	7,297.43	49.33		英10年債	1.1170	0.1bp
DAX	12,716.89	69.11		豪10年債	2.6480	0.7bp
ハンセン指数	24,476.35	▲207.53		USD/CNH	6.9002	0.0076
上海総合	3,103.04	▲24.33		ドルインデックス	98.65	▲0.15
USDJPY 3M Vol	8.83	▲0.06%	商品市況	CRB指数	177.924	0.92
USDJPY 6M Vol	9.12	▲0.05%		NY金	1,226.90	▲1.70
EURJPY 3M Vol	9.57	▲0.31%		WTI	46.22	0.70
EURJPY 6M Vol	9.63	▲0.25%		Dubai Spot	47.59	▲1.79

アジア	7時7時間のドル円は112.54レベルで取引を開始。東京市場が祝日となる中、海外時間に米4月雇用統計、週末に仏大統領選決選投票といったイベントを控え、様子見ムードから小動な展開。WTI原油価格が一時44ドル台まで下落したことや、米商務長官の対日貿易赤字の急増に対する批判も意識され、ドル円は112.09まで下落した。一方で、112円を割り込む程の勢いはなく112円台前半で推移。結局、ドル円は112.17レベルで海外に渡った。(香港14:30)
ロンドン	ドル円は112.17レベルでオープン。海外時間に米4月雇用統計を控えて様子見ムード。特に注目される材料はなかったものの、WTI原油価格の回復とともにじりじりと値を上げ、112.47レベルでNYへ渡った。米ドルは1.2926レベルでオープン。英国地方選挙で保守党が順調に議席数を増やしており、英国総選挙でも保守党が勝利するとの期待が出る中、堅調推移。ロンドン時間高値1.2942をつけたものの、一段のドル円上昇にはやや材料不足であり、また米4月雇用統計を前に様子見ムードとなったこともあり1.29台で揉み合い推移。結局、1.2939レベルにてNYへ渡った。(ロンドン丸野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は、112.47レベルでNYオープン。朝方発表された米4月雇用統計は非農業部門雇用者数、失業率共に良好となったことから、ドル円は発表直後112.75まで急伸。しかし、平均時給伸び率(前年比)が予想を下回り、前回値も下方修正されたことが意識され、112.34まで反落。ただ、6月利上げ期待を保つには十分な結果であったことから、6月利上げ期待加速と共にドル円は112.78まで再度上昇。その後はFED議長、フィッシャー副議長の講演を控え112.60-70レベルで膠着状態となった。午後に行われた講演ではFED議長、フィッシャー副議長共に金融政策に言及しなかったことから112.45まで下落。その後は週末を控え112.50を挟んでのレンジ推移となったが、引けにかけては112.82まで上昇し、112.81レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.0958レベルでNYオープン。米4月雇用統計直後のドル買いに安値1.0949まで下落したが、冴えない平均時給伸び率を受けたドル売りを受け、すぐ反発し1.0990まで急伸。週末に控える仏大統領選決選投票でマクロン氏勝利がほぼ確実視される中、ユーロは一段高となり高値1.0999まで上昇。しかし1.10手前までは売り意欲も強く、その後は1.0990付近での推移となり、1.0999レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:チャイ・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月5日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	4月 211K	190K
	21:30	米 失業率	4月 4.4%	4.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	4月 0.3%/2.5%	0.3%/2.7%
	21:30	加 雇用ネット変化	4月 3.2K	10.0K
	21:30	加 失業率	4月 6.5%	6.7%
5月6日	00:30	米 フィッシャーFRB副議長 講演	-	-
	01:45	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	02:30	米 FER高官(ローゼン格林/エバンス/ブラード各総裁) 講演	-	-
	02:30	米 イエレンFRB議長 講演	-	-
5月7日	-	仏 大統領選挙 決選投票	-	-

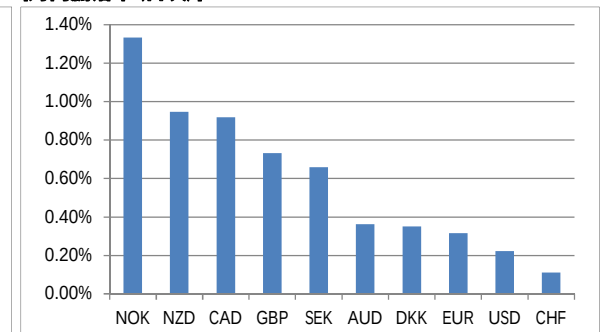
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月8日	-	中 貿易収支	4月 \$35.20B	\$23.92B
	-	中 輸出/輸入(前年比)	4月 11.3%/18.0%	16.4%/20.3%
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	3月 0.7%/2.1%	3.4%/4.6%
	21:45	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 労働市場情勢指数	4月 1.0	0.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.10-114.10	1.0950-1.1050	123.00-125.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は底堅い展開となった。北米時間に発表された米4月雇用統計にて、非農業部門雇用者数が市場予想を上回る等堅調な結果となったことを背景に6月の利上げ観測が再び高まり、ドル買いが優勢の展開となり、ドル円は一時112.82まで上昇。しかし、週末にフランス大統領選挙の決選投票を控えて様子見ムードとなり、ドル円の上値追いは限定的になった。本日のドル円相場は引き続き底堅い展開を予想する。フランス大統領の決選投票結果が本日日本時間の3時に発表され、中道で無所属のマクロン候補が極右政党のルペン候補を破って、史上最年少の大統領に就任することとなった。この結果を受けて市場の不透明感の解消からドル円は堅調に推移すると予想するが、選挙の結果は既に織り込まれており、ドル円の上値は限定的になると見込まれる。